

# ライフプランセミナー 開催

(県教組 ライフステージを見据えた学習会)

県教組は8月30日(日)に、子育て世代の組合員のみなさんを対象とした「県教組ライフプランセミナー」を開催しました。今回は福祉対策部長も参加しました。子育て・教育資金、住宅建設、退職後の備えといった、今後迎えるライフステージを見据え、どのような備えが必要か、どのようにして貴重な資金を活用するか等について考えるセミナーとなりました。

ご要望があれば、各支部・各分会に教職員共済福井県事業所の担当者が伺って説明させていただくことも可能です。お問い合わせをお待ちしております。



## <セミナーの主な内容>

- 人生の三大資金は「教育資金」・「住宅購入資金」・「老後の生活資金」。
- 「収入－支出＝貯蓄」でなく、「収入－貯蓄＝支出」を基本として生計を考える。
- 万が一伴侶を亡くした場合、遺族年金は夫を亡くした妻に厚い。
- 低金利の今、月1万3000円を18年間積み立てても300万円には届かない。
- 公立学校共済組合と県互助会からの給付で、入院等の医療の自己負担は多額ではない。

## <参加者の感想・意見>

今まで入ったら入りっぱなしの保険でしたが、目からウロコでした。

公的な保障も使い、賢く見直しをしなければと強く思いました。

入院しても共済組合からお金がもらえるのに、生命保険にたくさん入ることに疑問を感じていましたが、今回のセミナーを受講して気持ちがすっきりしました。

限られたお金なので、分配をよく考えないといけないと思いました。